

教育計画

(1) 学校教育目標・運営方針

1. 学校教育目標

「自ら学ぶ生徒、豊かな心を持つ生徒、たくましく生きる生徒の育成」

～知・徳・体のバランスのとれた生徒～

知＝自ら学び、自ら考え、行動する力を育てる

徳＝秩序と礼儀をわきまえ、思いやりのある豊かな心を育てる

体＝心身ともに健康で、たくましく生きる力を育てる

2. 重点目標

- (1) 自ら進んで、学習に取り組む生徒を育てる。
- (2) 秩序と礼儀をわきまえ、思いやりのある生徒を育てる。
- (3) 自ら考え、判断し、責任を持って行動する生徒を育てる。

3. めざす生徒像・学校像・教師像

(1) めざす生徒像

- ① 自ら学ぶ生徒
- ② よく挨拶する生徒
- ③ 思いやりのある生徒

(2) めざす学校像

- ① 落ち着いた学校
- ② 活気のある学校
- ③ 学力を高める学校

(3) めざす教師像

- ① 使命感をもち、率先して行動する教師
- ② 自らを磨く教師
- ③ 厳しくもやさしい教師

4. 経営の重点

(1) 授業経営の充実を図る。～自ら進んで、学習に取り組む生徒を育てる～

- ① 授業規律の確立を図る授業実践
- ② 「わかる授業」を保障する授業実践
- ③ 授業時数の確保と、年間指導計画に基づいた指導の徹底

(2) 生徒指導の充実を図る。～秩序と礼儀をわきまえ、思いやりのある生徒を育てる～

- ① 生徒指導部会の定例化
- ② 月別目標の実践と評価
- ③ 不登校生徒の改善と研修

(3) 道徳教育・人権教育・進路教育の充実を図る。

～秩序と礼儀をわきまえ、思いやりのある生徒を育てる～

- ① 年間指導計画に基づいた指導の徹底
- ② 人権教育講演会の参加
- ③ 進路説明会の設定と進路情報の充実

(4) 生徒活動の充実を図る

～自ら考え、判断し、責任を持って行動する生徒を育てる～

- ① 学校行事の成果を生活に ～生徒とともに創り上げる行事・職員の主体的な参加～
- ② 生徒会活動の充実 ～月別生活目標の連携と評価～
- ③ 部活動の成果を生活に ～社会性を育てる部活動経営(礼儀・言葉遣い・挨拶)～
- ④ 学年・学級経営の充実～学年経営の活性化・学年会議の定例化・生徒の自主的自発的な活動による学級活動

(5) 校内研究・研修活動の充実を図る。～自ら進んで、学習に取り組む生徒を育てる～

- ① 新学習指導要領に即した授業づくりの研修
- ② 指導方法を創意工夫した校内研修
- ③ 学力向上を図る小学校区との授業評価連携

(6) 校内環境の充実を図る。

- ① 教材備品等の管理場所の明確化と整理整頓
- ② 校内掲示の工夫
- ③ 各学年フロアの意図的な環境整備

(7) 開かれた学校づくりを図る。

- ① 保護者・地域住民の積極的な活用
- ② P T Aとの積極的な連携
- ③ 学校公開の実施、学校評価の活用、市教委との連携

5 具体的な取り組み

(1) 学力の向上

- 基礎・基本の学力の底上げ（習得）、
- 全国学力調査及び市販実力テストで5教科の平均点をあげる
 - ・朝読書の変わりに朝学習の実施（5教科で実施、評価対象とする）教科指導委員会で検討
 - ・定期テスト4回の実施（3年後には県平均を上回る目標）
 - ・授業で勝負する（わかる授業、指導方法のさらなる工夫、言語活動の充実）
 - ・家庭における勉強時間の調査、改善（教科指導委員会で検討）

(2) 学校における感動体験の重視

- ・学校・学年行事で感動できる場の設定と生徒への言葉かけ
- ・生徒会活動で感動できる場の設定、執行部への言葉かけ
- ・部活動で感動できる場の設定と話の工夫
- ・学級活動で感動できる場の設定と話の工夫を行う

(3) 生活指導の重視 ～スリーSの実施～ スピーディーに行動、スタミナを持って、スリム化を目指して（会議の短縮）

- ・全学級で教育目標の掲示する。
- ・生徒とのコミュニケーションを積極的に行う。関係づくりに重視を。
- ・遅刻指導、服装・頭髪指導は4月に粘り強く指導する。
- ・繰り返しの違反は、直してから登校させる。4月から保護者会で説明し協力を求めていく。
- ・生徒指導などで動く場合は、複数教師で動く。全員で動ける集団。

(4) 保護者との連携を重視

- ・十分な説明と協力してもらえる関係づくりに尽力する。
- ・P T Aの活動にはできるだけ顔を出し、声かけを行う。